

山形市市民活動支援センター連絡協議会 懇談会 議事録

日時	平成 28 年 9 月 27 日（火） 午後 7 時～9 時		
場所	山形市市民活動支援センター 会議室 B		
出席 (11 名)	山形市企画調整部 山形市企画調整部企画調整課協働推進係 山形市市民活動支援センター 山形女性医師ネットワーク（池田） （特活）環境ネットやまがた（大場） カジョウ・コミュニケーション（吉田（直）、吉田（真）） （特活）まちづくり山形（村中） （特活）しん（安喰） （特活）山形県喫煙問題研究会（櫻井） （特活）山形の公益活動を応援する会・アミル（佐藤）	次長 係長 所長	伊藤浩之 様 菊地弘史 様 齋藤和人 様
記録	（特活）山形の公益活動を応援する会・アミル（佐藤）		

議 題 （次 第）

1. 開会の挨拶
2. ご挨拶（伊藤様、菊地様、齋藤様）
3. 懇談（テーマ「ネットワークプロジェクトの総括と山形市における市民活動について」）
4. 閉会

概 要

・山形市企画調整部から伊藤浩之次長、菊地弘史係長に、山形市市民活動支援センター（以下、センターと表記）から齋藤所長にお越しいただき、「ネットワークプロジェクトの総括と山形市における市民活動について」というテーマで、当会役員と意見交換を行った。各出席者が意見を述べた。

（1）新規事業「連絡協議会ネットワークプロジェクト」について

・新規事業「連絡協議会ネットワークプロジェクト」を開催した経緯とその内容、成果などについて話があった。（池田）

（2）山形市の市民活動について

- ・会のメンバーの高齢化が進んでいる。それにより会の継続が困難になるケースも見られる。そのため、センターでは講座等の対象を再考する必要もあると考えている。（齋藤）
- ・市民が、山形市のことをもっと知りたいと考え、市内で行われている様々な活動のを知りたいと思った時に、気軽に活動を知ることができるように、活動マップのようなものがあるとありがたいと感じている。（櫻井）
- ・市とセンターと協議会で、市民活動の浸透のために、待ちの姿勢でなく具体的にどうしていくか考えていく必要があると思う。伝える機会が多い団体が強いと思っている。（吉田）

### (3) 協議会について

- 多様な団体が入っており情報の収集や伝達が早いと認識している。(池田)
- 協議会に入るメリットの出し方を議論する必要があるのではないか。(伊藤)

### (4) 大型プロッター（大判印刷機）の利用について

- 協議会に入るメリットの一つとして、大型プロッター利用の利便性を高める体制を整えたい、との話があった。(池田)
- その後、次のような具体的な話があった。

現在、紙とインクは利用者が持ち込むのがルールになっているが、インク持ち込みは利用者負担が大きいとの配慮から、インク代はセンターが負担している状況である。

年間わずかしか印刷しない団体が紙やインク等の負担を軽減するため、協議会に入っている団体は、協議会に利用料を支払うことでロール紙等を買わずとも印刷できるようにする。(佐藤)

- 以上を参加者で情報共有し、また使用料等について継続協議の必要性があると確認した。